

いどでんわ

立川市立
芦北支援学校



第179号

令和5年3月2日
発行

紙面内容

- ◎ 新児童生徒会役員紹介
- ◎ 卒業生特集
- ◎ 活動紹介
- ◎ 卒業生の進路情報等

佐敷分教室

新生徒会役員選挙により、生徒会長一名、役員三名が決定しました。

わたしたちは、

「一人一人の個性を生かし、楽しく

笑顔あふれる学校」

を目指して、これから一年間、

高等部佐敷分教室を盛り上

げていきます。

どうぞよろしく願います。

(新生徒会)



「プラス思考で一步前進!」



校長
富永 佐世子



厳しい寒さや四月を思わせる温かさを繰り返しながら二月が終わり、学校では卒業証書授与式を迎える三月がやってきました。本校高等部一名、中学部二名、訪問教育高等部一名、中学部一名、高等部佐敷分教室十名の式を挙行いたします。生徒一人ひとりの頑張りはもちろん、保護者の皆様をはじめ、本校の教育活動のために御支援や御協力をいただきました全ての皆様に心から感謝申し上げます。学校生活で積み重ねてきた経験や思い出が、これからの人生において大きな意味を持つと思います。本当にありがとうございました。

今後とも御助言等よろしく願っています。

さて、新型コロナウイルスという未知のウイルスに対し、最初は手探りだった感染対策も、密閉・密集・密接のいわゆる「三密」を避けることが大切だと分かりました。また、マスクの着用が感染予防には有効なことや、免疫機能を高めることも分かりました。現在ではワクチンが開発され、世界各国で接種が進んでいます。私はこのことから「技術を積み重ねること、あらゆる情報を共有すること、そして、一歩ずつでも前に進むこと」がいかに重要かを改めて感じました。感染対策と授業の両立という課題を前に、最初はウイルスへの恐怖で不安ばかりでしたが、職員の頑張りのおかげで何とか克服して授業を再開することができました。つまり、プラス思考で考えれば、感染予防もワクチン開発もオンライン授業の普及も、克服する手段がある現代だったから流行したと捉えられると思います。大切な時代を一緒に乗り越えたからこそ得られたものが何年後後にきつと明らかになると信じて、皆様これからも一緒に歩みを進めて参りましょう。

新児童生徒会役員紹介

本校

十二月九日(金)児童生徒会役員選挙結果発表が行われ、新たな役員が決まりました。同日に力みなぎる決意表明も行われました。新会長にKさん(高等部2年)、小学部役員にIさん(小学部5年)、Uさん(小学部3年)、中学部役員にYさん(中学部2年)訪問教育役員にTさん(高等部2年)。

本年度は、終業式に校長室での任命式でした。

5名の新役員を中心に、笑顔あふれる芦援を、

みんなで協力して

盛り上げて行きたいと

思います。(新児童生徒会)





卒業生担任よりメッセージ

ご卒業おめでとうございます。みなさんと一緒に中学部に入り、三年間担任させていただきました。入学したのが本日に昨日のように感じる三年間でした。心も体も大きく成長しましたね。これからも自分らしく様々なことにチャレンジして、力強く頑張ってくださいと思います。(中学部 田端)

ご卒業おめでとうございます。児童生徒会長として生徒代表のあいさつや、全校集会の司会など学校を引っ張ってくれました。これからも元気に毎日を過ごしてください。ファイト！(高等部 鳳凰)

ご卒業おめでとうございます。スイッチの操作で自立活動頑張りましたね。これからもKさんスマイル大切に！(訪問教育 五嶋)

ご卒業おめでとうございます。訪問教育のリーダーとしての仕事に意欲的に取り組み、後輩たちに先輩の姿を見せてくれました。これからもAさんらしく過ごしながら、活躍していくことを期待しています。(訪問教育 柏木)

卒業おめでとうございます。個性豊かな十人の皆さんとの毎日は、とても濃くて、そしてあつという間でした。悩んだ時間も、大切な宝物です。クラス目標「笑顔で一歩前進」、これからは人生の目標として、小さな一歩でも前を向いて歩んでください。大丈夫！(佐敷分教室 福島)

卒業おめでとうございます！

楽しかったことは、宮崎への修学旅行です。宇宙科学館のプラネタリウムやホテルでの食事が楽しかったです。園芸活動では、三年間、種まきや苗植え、ポットやプランター洗い、水やりを頑張りました。(Dさん)

中学部では、園芸活動でスイッチを押してミキサーを回し、土作りを頑張りました。朝の会や帰りの会、全校集会、にこふれ発表会では、一人でスイッチを押してパソコンを操作して、司会や発表ができるようになりました。(Yさん)

頭や手でスイッチを操作して教材を動かす学習をがんばりました。特にレコーダーからお父さんの声が聞こえたときに最初はびっくりしましたが、とてもうれしかったです。これからも笑顔を大切にがんばります。(Kさん)

クラスメイトと共に過ごした三年間で沢山の思い出が生まれました。中でも宮崎への修学旅行は、ホテルでの美味しい食事や買い物、プラネタリウムでの星空体験、青島散策。どれも心に残る大切な思い出になりました。(Fさん)

在学中は人とかわかる活動に意欲的に取り組んでいました。気持ちを表す場面では「楽しい」や「笑顔」を選ぶ等、楽しむ気持ちを大切にしていました。卒業後も人とかわかり合いながら、楽しんで過ごされることと思います。(Aさん)

三年間で友達がたくさんできました。思い出は修学旅行と友達とゲームをしたり勉強したりしたことです。実習では仕事をすると大変さなどたくさん学べました。保育の仕事で自分から色々聞き休まずにがんばります。(Kさん)

僕が一番の思い出は修学旅行です。うみたまごに行ったり、城島高原パークでゴーカートに乗りました。ハッピーオレンジで仕事を頑張りたいです。三年間ありがとうございました。(Sさん)

心に残っている学校行事は芦高祭です。ステージで手話歌を発表したのが思い出です。私は毎日縄跳びを頑張りました。卒業後も続けたいです。(Sさん)

将来は一人暮らしをしたいです。そのために、仕事を頑張っていきたいです。三年間、ありがとうございました。(Tさん)

一番の思い出は、城島高原パークで、好きなアトラクションに乗りました。ジュピターがとても楽しかったです。職場では、コミュニケーションをしっかりとって信頼される社会人をめざしていきたいです。(Bさん)

毎日、学校の勉強を頑張りました。一番心に残っているのは、体育大会で、団長としてみんなをリードしてとてもいい思い出になりました。(Hさん)

一番の思い出は修学旅行です。みんなと好きなところに行ったり、アトラクションに乗り、お昼ご飯を食べたり、一緒に楽しめました。三年間ありがとうございました。(Mさん)

修学旅行で楽しい思い出ができました。ダンス発表会も初めてだったけど、最後までやり遂げることができました。長距離走大会で自己ベストを出すことができました。(Mさん)

学校生活の思い出は、百人一首をがんばったことです。分教室の大会で礼を取ることができてうれしかったです。(Mさん)

訓練校で頑張りたいことは、保育補助の資格をめざし、必要な知識を学んでいくことです。思い出は修学旅行で初めてのジェットコースターが楽しかったです。また、ダンス大会でみんなと楽しく踊れました。(Mさん)

十五人の卒業生の皆さん、これからの人生がますます輝き、これからも幸せに過ごされることを願っています。



活動紹介

小学部

プレイルームに遊具を設置して取り組んだ「ワクワク！大きなキョウランド！」。児童が大好きなキャラクターで装飾したすべり台等の中から遊びたい遊具を選んで自分のペースで遊ぶことができました。友達と一緒に遊ぶ時には「〇〇さん遊ぼう！」と誘ったり、「ブランコに一緒に乗っていい？」と尋ねたりするなど子どもらしい自然なかかわりを見ることができました。(東)



中学部 「立志式」

二月日に中学部二年の生徒の立志式を行いました。立志式は、日本で古くから行われていた「元服(昔の成人式)」にあたる儀式を行い、一人の人として志を立て、これからの意思を表明する式です。二年生の生徒は、保護者への感謝のメッセージをスィッチを押しながら発表し、これから頑張りたいことを発表することができました。三年生からは激励の言葉が送られました。保護者や校長先生からお祝いの言葉が送られ、心温まる式となりました。(園山)



高等部

十二月のクリスマスマス単元では、木の実などの身近にある材料を使って、パネルの上にオリジナルのクリスマスツリーを作りました。また、大切な家族に向けて、心のこもったメッセージを添えたクリスマスカードを制作し、各家庭に届けました。

三学期は病棟閉鎖が続いていましたが、登校再開後に、アルバム作りや卒業生を送る会に取り組みました。(大瀬)



訪問教育

訪問教育では、感染症予防の病棟閉鎖の為、3学期当初はベッドサイドでの授業に替えて、DVDを通して、季節に関する学習や授業の一部を行いました。授業再開後、DVD学習の感想を伝える表情がとても嬉しそうでした。その後は卒業・進級単元で、一年間の振り返りを行いました。写真やキャリアパスポートを活用して行い、記念品製作も行いました。限られた時間でしたが児童生徒はじっくりと活動でき、活動を通して卒業や進級を意識することができました。(福田)

佐敷分教室

一月十三日(金)、分教室は「つながぎ美術館」に校外学習に行きました。これまで美術の授業で、スパッタリング画などの技法を学び、絵画作品の表現の良さについて学習を深めてきました。美術館では有名な画家の作品展が行われており、鑑賞後は、感想書きに取り組み、それぞれ作品に込められた思いに浸ることができました。(境野)



清掃技能検定

十二月六日(火)高等部佐敷分教室で清掃技能検定を実施しました。生徒達は、テーブル拭きと自在ぼうきの二種目に分かれて熱心に練習に取り組みました。検定当日は緊張しましたが、お互いに確認し合ったり、励まし合ったりして試技に挑戦しました。道具の使い方、正しい掃除の仕方、方を学ぶことができました。(岡野)



あしえんタイム

月に一回、金曜日の午後、本校小学部から高等部までの縦割り活動として、「児童生徒会」「生活係」「新聞係」(訪問教育)に分かれて活動しています。児童生徒会では、会長はじめ、新役員が集まり、学期に一回の全校集会や卒業式のお祝いの言葉の準備にとりかかっています。生活係では、教室の掃除や石けん液の補充を中心に、手洗いうがいなどの健康に関する内容を学びます。毎回、元気に「ヤーレン、そうじどっこいしょ！」(生活係の歌)を歌いながら賑やかに活動しています。訪問教育の児童生徒のみんなで作る「訪問タイムズ」では、それぞれ勉強の様子や生活単元学習の様子をお知らせしています。「訪問タイムズ」は、今回三回目の発行となり小学部の昇降口に掲示されていて、小学部の児童が登下校中にいつも見えています。



あしえんタイムではそれぞれの実態やニーズに応じて、様々な役割や活動に、できる活動で主体的に取り組んでいます。(猪木)



県高等学校ダンス大会出場

一月二十一日、熊本県立劇場にて、熊本高等学校ダンス発表会が行われました。本校高等部佐敷分教室の生徒が保健体育の授業で創作した「明るい未来に向かって」というテーマでダンスを披露しました。新型コロナウイルスの流行や豪雨による災害の年度に入学した三年生の想いを題材に、みんなで協力して作り上げたダンスを日々の練習の成果を発揮して披露することができました。

(江口)



進路情報

三月、高等部本校二人、佐敷分教室十人の計十二人の卒業生が、十二年間の学校生活を終え、新たな生活へ向かって芦北支援学校を巣立っていきます。高等部の卒業は、人生の大きな節目です。これから先の長い人生、楽しいこと、辛いこと、いろいろなことがあると思いますが、悩んだり、困ったりした時は、一人で悩まず、学校や支援機関等に相談して下さい。学校も支援機関と連携し、これからも皆さんを応援していきます。卒業しても、色々な行事に元気な笑顔を見せに来て下さい。これからの新たな旅立ちに乾杯！

『主な進路先』

《一般企業》

- ・あしきた農業共同組合様(ファーマーズマーケットでこぼん)(芦北町)
- ・西方寺認定こども園様(水俣市)
- ・石路の里様(芦北町)

《就労継続支援B型事業所》

- ・ハッピーオレンジ様(芦北町)

- ・らぶらんどカフェ八代様(八代市)

《生活介護》

- ・まどか工房様(水俣市)

《訓練校》

- ・鹿児島障がい者職業能力開発校様

《障がい者支援施設等》

- ・くまもと芦北療育医療センター様(芦北町)



地域支援

誰もが子ども達に「困った時、側にいる人に手伝ってくださいと言えるようになること」を願うのではないのでしょうか。しかし、自分に置き換えたときはどうですか？一人で頑張りすぎていませんか？側にいる人に話すことで、思わぬヒントを得ることもあります。皆さんからお話を伺えることをいつもお待ちしております。(山中)



緊急時や災害時等に活用する一斉メール配信システム『あしえん安全メール』の運用にあたり、下記の2社からの協賛をいただいています。

- ゆめタウン八代 様
- 熊本日日新聞社 湯前販売センター 様

「いとでんわ」は芦北支援学校の情報発信紙です。地域と共に成長する学校でありたいと考えています。関係者の皆様、地域の皆様のご意見をお待ちしています。

《御意見・お問い合わせ》
 TEL 0966-82-4627
 FAX 0966-82-4606
 MAIL ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp